



Hondaの新興国知財戦略

グローバル知財戦略フォーラム2016資料

2016年1月25日

本田技研工業株式会社
知的財産部長 別所 弘和

新大洲Honda概要

設立：2001年9月

本社所在地：中国 上海市

資本金：1.3億USDル

出資比率

本田技研工業株式会社 40%、

新大洲控股有限公司 50%、

本田技研工業(中国)投資有限公司 10%

事業内容：二輪車製造、販売

従業員数：3,300名(2010年4月末現在)

工場所在地：上海市、天津市



強み

高いエンジン
製造技術

天津本田摩托車
有限公司

「強み」
の融合

市場分析力、
販売・調達網

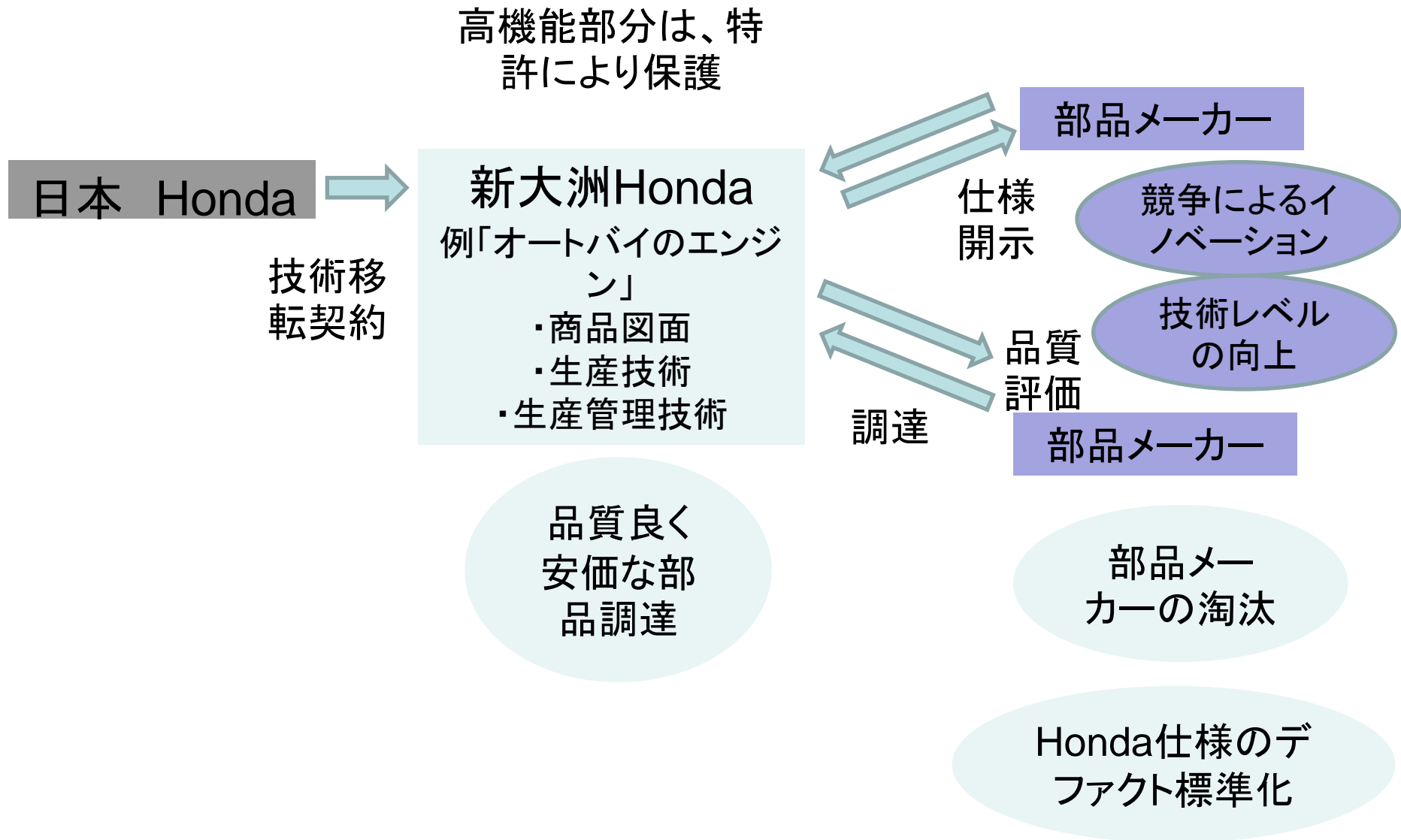
新大洲摩托車有
限公司

新大洲本田
摩托車有限
公司

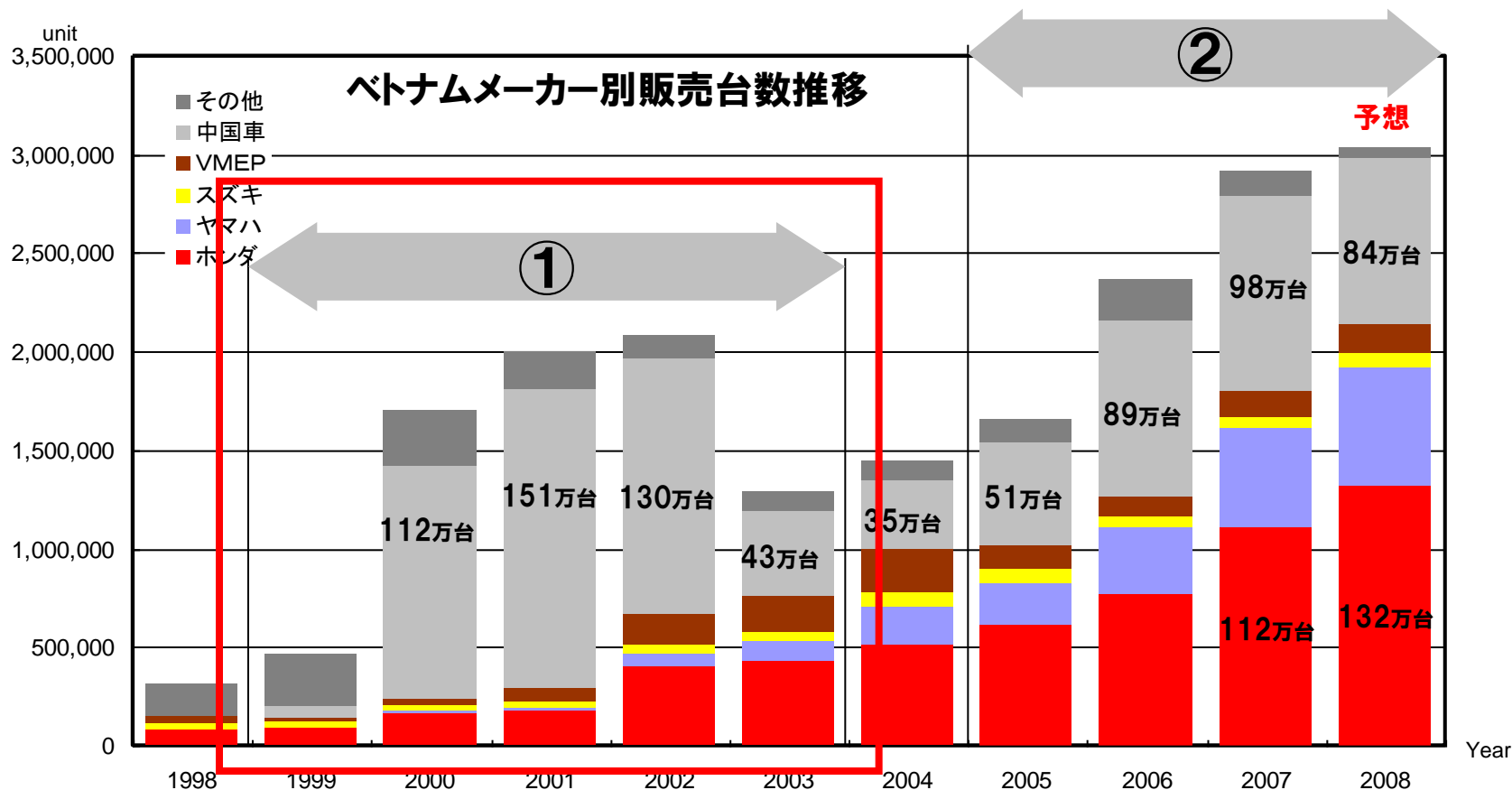
技術力

本田技研工業株
式会社

オープン/クローズ



ベトナムの二輪車市場



① 00年～コピー車市場急拡大→03年で一旦終息

② 05年～再びコピー車は拡大→終息方向。

意匠権の権利行使



**Honda
FUTURE**

ベトナム
意匠登録No.:5752

模造品

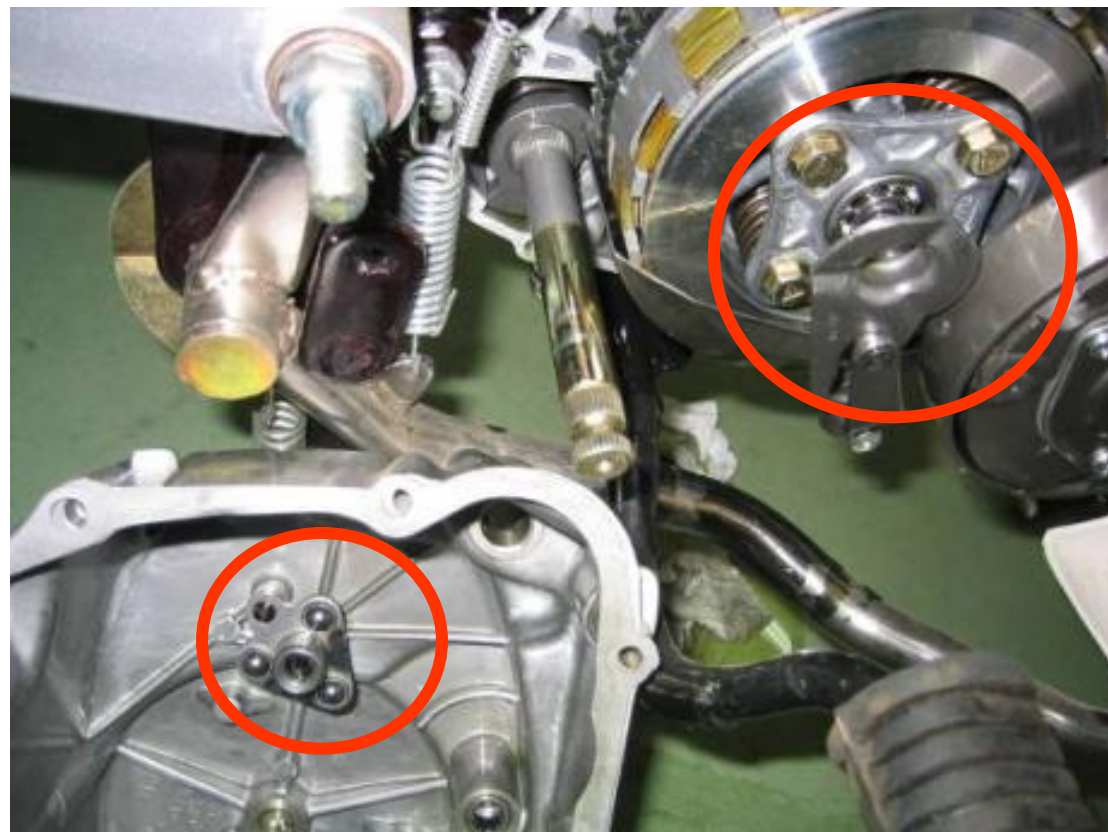
ブレーキ効き難あり。
走行時の振動大。
耐久性低い。



Sanction Decision

クラッチの機構の特許権侵害

コピー車分解時の写真



商標権の侵害

Hondaの商標



コピー車の商標

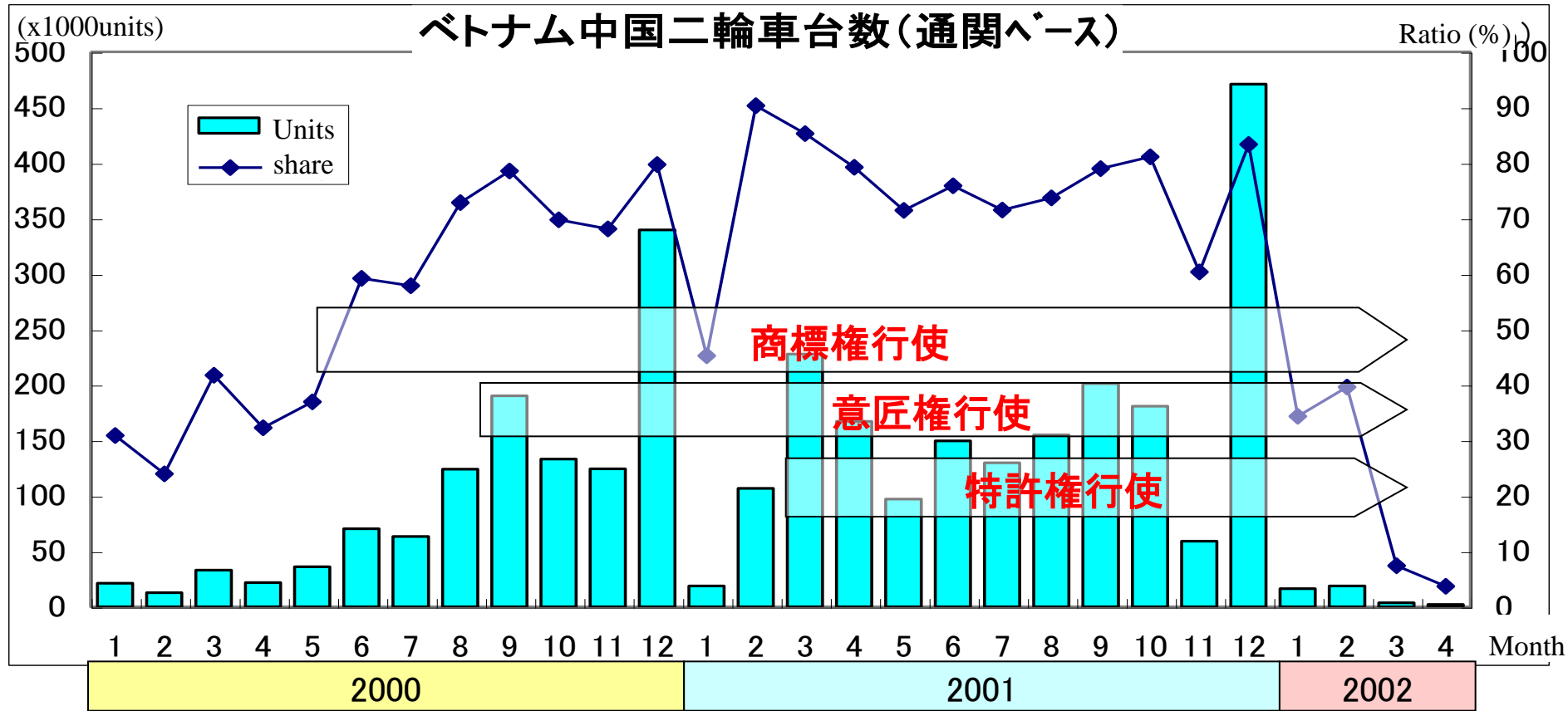


Hondaの反撃—リーガルアクション

権利行使の結果

1000units

share



他社販売のCARBURETOR(キャブレター)

Honda Dream Yuga



燃費74.1 Km/l

Hero Splendor



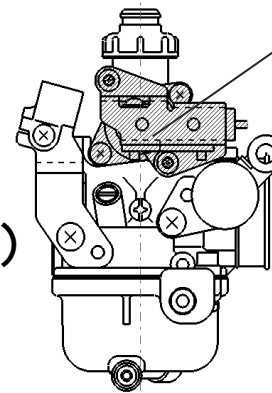
燃費68.2 Km/l

スロットルスイッチ無



有無コスト差
= 128.22Rs

(約250JPY)

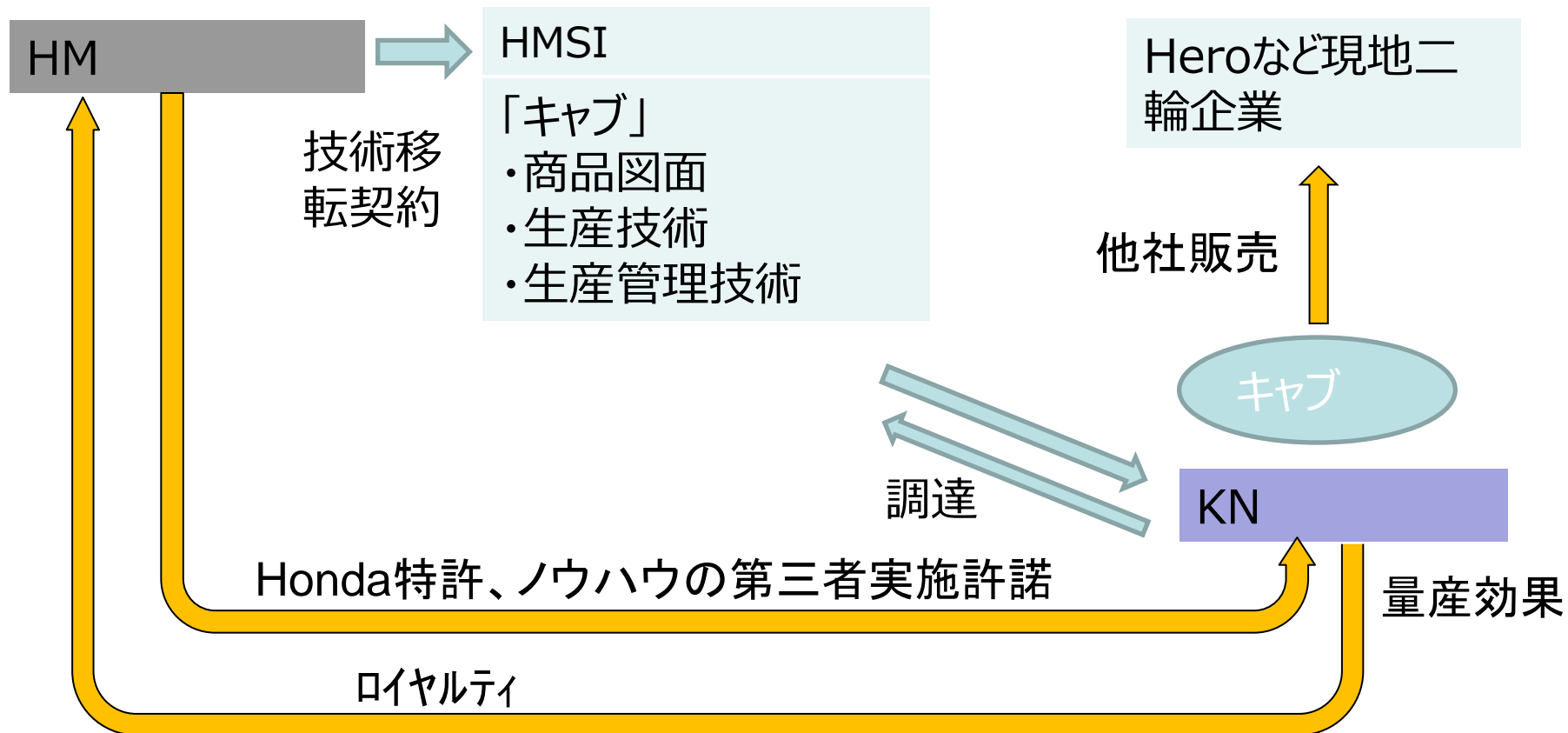


スロットルスイッチ付

ピストンTYPE
PB型 CARBURETOR

取引の構図

競争力部分(燃費など)は、特許により保護、ノウハウの秘匿



オープン/クローズ戦略

1. 量産効果によるコストメリット(他販許諾:オープン)

エミッション規制は、必ずクリアしなければ売れないので、他のキャブメーカーの製品を使われるくらいであれば、Honda技術のキャブを使ってもらい、規模の利益をHondaは享受する。

2. 特許による商品性能優位性は確保(特許権による独占:クローズ)

HMSIオートバイが、同じHondaキャブを使用したインド二輪企業オートバイよりで燃費が1割から2割良い。(Honda特許の冷却構造、 $\Delta\omega$ 制御などの効果)

3. 特許による更なるコスト優位性(特許技術により他社採用不可:クローズ)

$\Delta\omega$ 制御はTH-SWが不要のためコストが安い (-128.22Rs)

オートバイの商品性能優位性だけでなくコスト優位性も達成したビジネスモデル

ノウハウマネジメント

JVパートナーによる情報要求

現地日本人スタッフの製造品質維持の責任感

明確なノウハウ管理ルールの不備、不徹底

従来の技術援助契約では対応不可

退職者

- ・自社ノウハウの洗い出し
- ・レベルわけ

意図せざるノウハウ流出が起こり易い

知的財産部が横通しで全社管理を統括

ノウハウ開示
基本ルール

ノウハウと特許
の区分け

技術援助契約

技術情報、図面の体系的なノウハウ管理ガイドを作成、通常は現場でガイドの項目により判断するが、最終判断は知財部で行う

新興国の知財リスク

1. 模倣品の被害(戦い方)
2. 権利確保の不備(どう備えるか、権利化の考え方)
3. 技術漏洩(先使用权の確保と自社技術の流出防止)
4. 契約書の不備(契約の制限)
5. その他